

# 補立候補氏3元新現

立候補者 (右から届け出順・敬称略)

午前9時現在



# いわき市長選告示

## 地域医療再生焦点

10日 投票開

宇佐美 登 50 コンサルタント 無新

【略歴】早大理工卒。経営コンサルタント。東日本国際大客員教授、日本WHO協会会長、衆院議員2期、松下政経塾10期生。いわき市佐藤町東1の17の4  
【政見】地域医療日本一の実現へ。高齢者の交通手段の確保、健康保険料の減額、習い事や塾代の助成、イノシシ対策など中山間部の応援、など全力投入

渡辺 敬夫 71 会社役員 無元

【略歴】日大法卒。営洋監査役。市長1期、県議会議長、県議5期、自民党県連幹事長、市議2期、湯本高同窓会長。いわき市平泉崎字向原18の2  
【政見】幼児教育無料化。教育予算27億円アップ。いわきFCと連携したスタジアム建設。共立新病院調査委設置。健康長寿社会実現。警城平城建設反対

清水 敏男 54 市長 無現

【略歴】日大法卒。市長1期、全国市長会理事、中核市市長会幹事。県議4期、市議2期、衆院議員秘書。いわき市常磐関船町屋津37の19  
【政見】生まれ育ったふるさとを良くしたい。震災からの復興、「医・職・住」の深化。子育て・教育先進都市の実現。所得の増大。共創のまちづくり

任期満了に伴ういわき市長選は3日、告示され、いずれも無所属で、新人で元衆院議員の宇佐美登氏(50)、元職の渡辺敬夫氏(71)、現職の清水敏男氏(54)の3人が立候補を届け出た。3候補は出陣式の会場に詰め掛けた支持者を前に第一声を放ち、10日の投票票に向けて7日間の選挙戦に入った。

4年前の前回市長選に出馬した4人のうち3人が相まみえる。東京電力福島第1原発事故からの復興施策が争点となった前回とは異なり、医師確保や救急医療の充実をはじめとする地域医療の再生とともに急速に進む人口減対策など、市の将来像を市民にどう示せるかが焦点になっている。

宇佐美候補は「約束を守る政治」を掲げて市政刷新を呼び掛ける。渡辺候補は幼児教育無料化など将来を見据えた施策で浸透を図る。清水候補は1期4年の実績を強調、復興施策などの継続を訴える。

市長選の届け出は午前9時現在、午後5時で締め切られる。